

自主的環境保全活動の取り組み状況（令和5年度）

（事業所名）三菱重工業（株）高砂製作所

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 三菱重工グループ「2040年カーボンニュートラル宣言」

<https://www.mhi.com/jp/expertise/carbon-neutral>（社HP掲載）

2020年に発表した中期事業計画である「2021事業計画」において、エネルギー供給側で脱炭素化を目指す「エナジートランジション」と、エネルギー需要側で脱炭素・省エネ・省人化を実現する「社会のインフラのスマート化」を2つの成長領域に定めました。

これらの領域の事業を推進し、また既存の事業の脱炭素化・電化・知能化を推進することにより、2040年Net Zeroを実現し、カーボンニュートラル社会の実現に向けて貢献していきます。

三菱重工グループの社員一人ひとりが、お客様、ビジネスパートナー、国、自治体、研究機関などと積極的に連携し、「MISSION NET ZERO」を胸に、Net Zeroの未来、カーボンニュートラル社会の実現に向けて行動していきます。

1-2 三菱重工グループ環境基本方針・行動指針

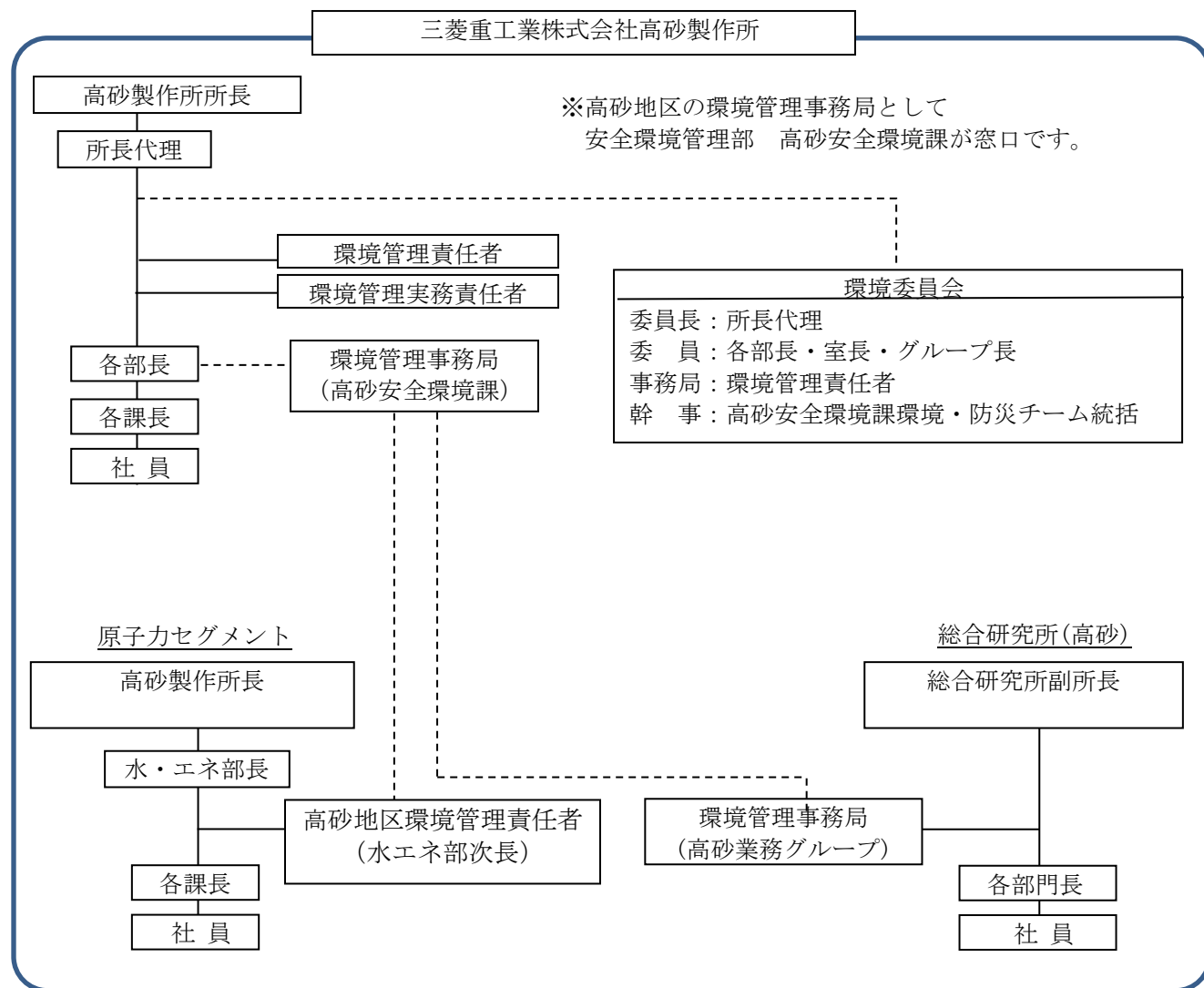
<https://www.mhi.com/jp/company/overview/policy/environment.html>（社HP掲載）

- ・三菱重工業株式会社及びそのグループ会社は、環境保護を経営の最重要課題のひとつとして位置づけ環境保全活動を実施する。
- ・企業としての社会的責務を自覚し、事業活動のあらゆる面で環境への負荷低減に努め、地球規模での環境保護と持続的発展が可能な社会形成に貢献する。
- ・環境方針に基づく取り組み目標として「エネルギー使用量・水使用量・廃棄物発生量及び特定の化学物質大気排出量の削減、環境負荷・環境リスクの低減・改善活動の実行、環境パフォーマンスの改善」等を挙げて取り組みを行っている。

なお、三菱重工グループ全社の省エネ・省資源や化学物質抑制等の目標は社ホームページ「サステナビリティ」で公表している。

<https://www.mhi.com/jp/sustainability/environment>（社HP掲載）

1-3 環境保全活動に関する組織体制 以下の組織体制で推進している



2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
ISO14001の認証取得	・1998年6月の認証取得以来、環境保全・環境貢献のツールとしてISO14001を基軸に高砂地区内の活動を展開している。 ・年度毎の活動計画の作成，推進状況の確認，内部監査等により環境管理を実施している。	継続
廃棄物排出の抑制	・2004年3月より廃棄物埋立ゼロ(アスベストを除く)を継続中。 ・2019年4月より高砂地区内にて4R活動開始、再利用するなど、廃棄物発生量の抑制活動を展開、また、廃棄物分別パトロールによる分別確認、リサイクル意識付けを展開中。 ・全部門 ペーパーレス化を推進	継続
電力使用量の抑制	使用エネルギー(電力)及びCO2排出量抑制を目的として下記の設備改善を実施した。 ・構内建屋の照明LED化 ・工場建屋の屋根面カバー工法の採用 ・変圧器の集約(過剰分休止)による待機電力削減 ・その他日常維持管理項目として空調温度の適正化 ・環境月間を機に「ゼロカーボンアクション30」を紹介し環境意識啓発を図った。 クールビズ・ウォームビズの周知徹底 夏季及び冬季の電力ピークカットの対応検討	順次設備改善を実施して継続的に取組み中。
教育・訓練	・新入社員向け 環境一般教育実施(毎年4月) ・一般社員向け 法令教育、環境マネジメントシステム教育(毎年6月) ・社内教材を作成し、リスク改善活動を促進する。 設備一斉点検を実施する等の環境事故防止対策活動を展開。 ・2023年6月 社外講師による環境法規セミナー開催 環境法令の基礎知識向上、コンプライアンス違反防止活動を展開中。 ・2023年度 年5回 環境ミニ勉強会実施(約10分～15分/回) テーマ「カーボンニュートラル」 テーマ「ISO14001順守義務・順守評価」 ・環境に著しい影響を及ぼす恐れのある施設を抽出し、1回/年以上の安全・環境教育及び異常時の対応訓練を実施している。	継続
地域社会へ貢献	1)工場周辺通勤路清掃活動 6月・12月実施	左記取組を適宜継続実施